

TEZUKAYAMA GALLERY

買える!アートコレクター展 in Osaka

Collectors' Collective vol.6 Osaka

2022.1.21^{FRI} - 2.19^{SAT}
TEZUKAYAMA
GALLERY /
VIEWING ROOM

出展コレクター

清水椋資 Ryoji Shimizu

出展アーティスト

井口舞子 Maiko Iguchi / 越田帆南 Honami Koshida / 中村百花 Momoka Nakamura / 藤本純輝 Atsuki Fujimoto / 山本真実江 Mamie Yamamoto

出展コレクター

奈良大和 Hirokazu Nara

出展アーティスト

西垣肇也樹 Hayaki Nishigaki / 廣田郁也 Fumiya Hirota / 松岡柚歩 Yuzuho Matsuoka / 三浦光雅 Koga Miura / ミノリ Minori

出展コレクター

牧野圭 Kei Makino

出展アーティスト

新井碧 Midori Arai / 高畑彩佳 Sayaka Takabatake / 野田ジャスミン Jusmin Noda / 森丈人 Taketo Mori / 吉見紫彩 Shisa Yoshimi



[コレコレ展について]

本展は、アーティストやコレクターと積極的に関わりを持ち、国内のアートマーケットに影響力を持ち続ける西日本在住のコレクター3名によるコレクション展です。

これまでのコレクション展と大きく異なる点は、来場者が展示されている作品を「買える」ということ。各コレクターのコレクション作品や嗜好性を披露するのみならず、彼らが「今」注目している若手アーティストから人気アーティストの新作を購入出来る機会を伴うコレクション展です。

[本展の2つの特徴]

- 1) 3名が2021年にコレクションした所有作品を展示披露すること。
- 2) 3名が2021年にコレクションした作品の作家と合わせ、2022年に注目するアーティスト総勢15名がそれぞれ新作を制作し、展示販売すること。

[出展コレクター / 出展アーティスト]

コレクター: 清水椋資

アーティスト: 井口舞子 / 越田帆南 / 中村百花 / 藤本純輝 / 山本真実江

コレクター: 奈良大和

アーティスト: 西垣肇也樹 / 廣田郁也 / 松岡柚歩 / 三浦光雅 / ミノリ

コレクター: 牧野圭

アーティスト: 新井碧 / 高畑彩佳 / 野田ジャスミン / 森丈人 / 吉見紫彩

出展コレクター#1 清水椋資 | Ryoji Shimizu

26歳、大阪府在住。サラリーマンをする傍ら、学生時代の愛称「アンディ」を名乗り、アーティストとして活動中。現在ギャラリーツアーの企画など、新たにアートに興味を持ってもらうことを目的とした活動を進行している。コレクター歴は1年でコレクションは15点程度。同年代の若手作家の平面作品を中心にコレクションしている。無人島にギャラリーを建てる野望があり、自身の英語力を生かして若手作家の国際進出を支援できるようアーティストとしての活動をより本格化させる計画を進行中。

推薦アーティスト



井口舞子 | Maiko Iguchi

1996年、大阪府生まれ。2016年に大阪デザイナー専門学校研究科イラストレーションコースを卒業後、主に関西を中心に活動中。日常と星と植物を主なモチーフとして用いており、晴れた日に散歩しているような、または静かな夜に灯りに照らされるような、日常の中で見つけた景色を私目線に描く。小さな幸福を日常を生きている中で感じて健やかな心を保つことの出来るように救いや希望になる絵を目指している。



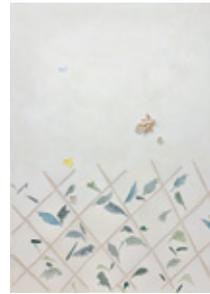
越田帆南 | Honami Koshida

1995年、京都府生まれ。2021年に京都市立芸術大学修士課程修了。現在は京都を拠点に活動中。「物語性」や「時間」ということをテーマにおきながら、「動きによる時間性や鑑賞者の見方、想像」について考え、制作を進める。実際に存在する景色をバラし、再構成する中で画面を構成し自身のエフェクトをかけることで人の目で見つめた時に動く残像や瞬間的な動きの表現を追究する。



中村百花 | Momoka Nakamura

1997年、大阪府生まれ。現在は京都市立芸術大学修士課程に在籍中。絵を通して、触れられない存在について思いを寄せている。遠くにあるけれど近くに感じる事、近くにいっても遠く感じてしまう事。記憶の中の距離を辿る。風化する記憶、曖昧になっていく輪郭、それらを絵の中に残していく。



藤本純輝 | Atsuki Fujimoto

1997年、三重県生まれ。2021年に京都芸術大学(旧・京都造形芸術大学)修士課程修了。現在は京都を拠点に活動中。質感の異なる布を重ねたり剥き出ししたりと、モチーフの持つ固有の性質と互いに補完しあえるように慎重に選択・手入れを重ねて絵画を創造する。連続して配置された絵具の塊や、剥き出された布による素材の群生は草木や花の様相と姿容し合い、展示空間に草花が群生している庭の光景を創出する。



山本真実江 | Mamie Yamamoto

1992年、京都府生まれ。2017年に京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻陶磁器分野修了。現在は京都を拠点に活動中。土や木版画を使って絵を描く。版木に彫り込んで描く事と、土で造形した立体物に彫り込んで描く事、素材は違えど共通した感覚で作品が出来上がる。平面と立体を行き来しながら、その間で作品を作ることを考えている。

出展コレクター#2 奈良大和 | Hirokazu Nara

京都府在住。コレクション歴4年のサラリーマンコレクター。絵画を主軸に、一部立体および写真作品などを収集。京都の芸術大出身の若手作家を中心にコレクションしつつ、個人で彼らの活動を支援するアトリエ訪問ツアーやインタビュー動画制作などの活動にも取り組んでいる。

インタビュー動画はYoutube上で公開中 | https://www.youtube.com/channel/UCK4L73TLNIRZu_iWEarf_A

推薦アーティスト



西垣肇也樹 | Hayaki Nishigaki

1985年、兵庫県生まれ。2012年に京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)大学院修士課程芸術表現専攻修了。芸術祭のあり方を芸術からではなく、銭湯を取り巻く環境の双方で捉え直した『京都銭湯芸術祭』の企画出展や、敗戦国日本人の器としてのゴジラを、山水や円相などの日本古来の手法で描く水墨画など、領域を横断しながら表現の可能性を探る。



廣田都也 | Fumiya Hirota

1989年、東京都生まれ。2012年に東京工芸大学アニメーション学科ゲームコース卒業。2014年京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)大学院総合造形領域修了。廣田都也は、水分や色料を含ませた紙などを布の上に8時間以上放置し、襲、花びら、細胞のような模様を浮かび上がらせる、絵筆を使わない手法で作品を制作してきた。その布を木枠に張り、それらの木枠を自身の身体の届く範囲よりも少し大きなサイズに繋ぎ合わせた作品《transition game》が代表作。



松岡柚歩 | Yuzuho Matsuoka

1996年、兵庫県生まれ。2021年に京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)大学院修士課程芸術研究科美術工芸領域油画専攻修了。目の前にあるものに対しての不安や疑問から、ものの境界を探ることを目的とした制作を行う。



三浦光雅 | Koga Miura

1997年、東京都生まれ。2021年に京都芸術大学(旧・京都造形芸術大学)大学院修士課程美術工芸領域油画分野修了。『偶然性・無作為性・手作業と機械作業の境界・労働』をテーマに、主に平面作品を制作している。乱数による指示を元にイメージを作り上げていく方法は、制作過程で生じる躊躇いを排除し、無意識的に純粋な行為を映し出すためのものである。機械的に引かれた線にも固有の表情が生まれるように、淡々とした日常を見つめ直すために制作する。



ミノリ | Minoru

1992年、奈良県生まれ。2016年に大阪芸術大学デザイン学科VAコースを中退。2020年に東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻を卒業。現在、東京を拠点に活動。日々止め処なくゆれる世界で、点と点を結んだり、解いたりしながら、何かが立ち現れるまで、私は注意深く対話する。

出展コレクター#3 牧野圭 | Kei Makino

東京都在住。不動産デベロッパーにて資産管理や再開発に携わる一方、全国各地でアートプロジェクトの企画運営を行うユニット「YOMAFIG.」を立ち上げ、同活動を通じて出会った作家の作品を主にコレクションしている。愛犬家。

推薦アーティスト



新井碧 | Midori Arai

1992年、茨城県生まれ。現在は京都芸術大学(旧・京都造形芸術大学)大学院修士課程に在籍中。「共生の時代であるからこそ生命の有限性について思考すること」をコンセプトに、身体性を伴ったストロークやアウトライン、無意識的に引かれる線、余白で画面を構成する。感情や人体のノイズが反映されやすいそのような手法は、自動的に画面に作家自身の生きた時間が内包され、「痕跡」としての絵画が生み出される。



高畑彩佳 | Sayaka Takabatake

1995年、香川県生まれ。2020年に京都芸術大学(旧・京都造形芸術大学)大学院ペインティング領域修了。京都府在住。15世紀に描かれたイコンの前を歩くと、絵画壁面の中へくると光が走った。磨きつけられた金が照明を反射し、金属ではなく光そのものとなった。自身の不確定な祈りの先に思いを馳せる装置として、不在のイコンを制作する。



野田ジャズミン | Jusmin Noda

1996年、タイ生まれ。陶芸による器物作品および、それらを用いたインスタレーション作品を制作。多面性をもつ現代工芸のカタチを明確にすることを目的に、器物作品を通じて「工芸とアート」の関わりについて言及している。「ghost」シリーズでは、「割れ」を造形より派生する装飾技法として扱い、器物から純粋な用途のみを抜き出し、器物の用途からなる《機能と造形(表現)》といった表裏する要素のあいだにあるアンビバレントな表現を行っている。



森丈人 | Taketo Mori

1994年、京都府生まれ。京都府在住。2017年に京都精華大学デザイン学部イラスト学科卒業。記憶の中に蓄積されたイメージから人や動物、物のカタチを描き出し、それらからカタチを選別しコレクションしていく行為を作品として表現している。



吉見紫彩 | Shisa Yoshimi

1990年、大阪府生まれ。神戸大学大学院人間環境学研究科修了。時間とともに作品の表象が変化する「熟成する絵画」シリーズや、動物の寝息を集めた7インチレコード「peaceful sleep」等、抽象と具象、有機と無機、自然と人工、意識と無意識を行き来する作品を制作。茶や塩、スパイス、化粧品、寝息、運といった一見不思議な素材を使用し、不可知なものの集積や可視化を試みる。

展覧会情報 | Exhibition Info

買える!アートコレクター展 in Osaka

Collectors' Collective vol.6 Osaka

2022.1.21 [金] - 2.19 [土]

[出展コレクター]

清水椋資 / 奈良大和 / 牧野圭

[出展アーティスト]

井口舞子 / 越田帆南 / 中村百花 / 藤本純輝 / 山本真実江
西垣肇也樹 / 廣田郁也 / 松岡柚歩 / 三浦光雅 / ミノリ
新井碧 / 高畑彩佳 / 野田ジャズミン / 森丈人 / 吉見紫彩

[企画]

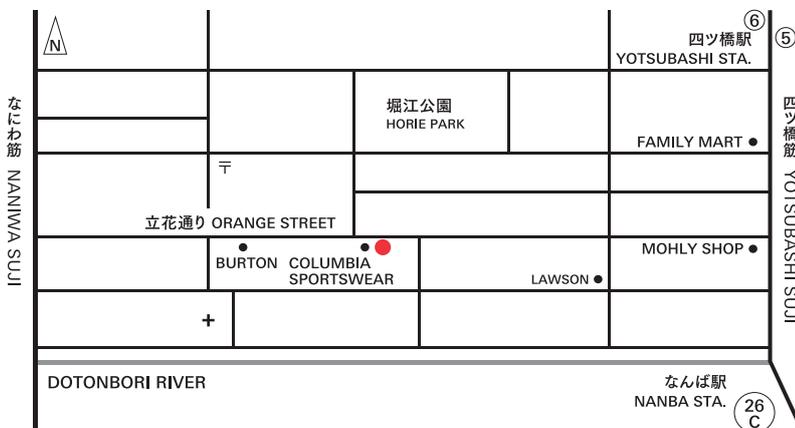
Collectors' Collective

[営業時間]

火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日

[お問合せ]

info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)



[同時開催 / Main Gallery Exhibition]

Directors Selection FOCUS

出展予定アーティスト

木村剛士 / 杉山卓朗 / 平野泰子

[アクセス/ACCESS]

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F

Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN

t: +81 6 6534 3993 | f: +81 6 6534 3994 | e: info@tezukayama-g.com